

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	NPO法人 福祉サービス評価センター
所在地	神戸市北区鈴蘭台北町1-11-8 ベルダ鈴蘭台601号
評価実施期間	23年 4月 1 日～ 24年 3月 31 日 (実地(訪問)調査日 24年 3月 12日)
評価調査者	H F 05-1-0083 ・ H F 05-1-0088

契約日から評価  
結果の確定日まで

2 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称：ドレミキッズ保育園 (施設名)	種別：保育所
代表者氏名：園長 濱崎 史子 (管理者)	開設(指定)年月日： 平成 15 年 6 月 1 日
設置主体：株式会社ハートフィールド 経営主体：株式会社ハートフィールド	定員 60名 (74名) (利用人数)
所在地：〒655-0046 神戸市垂水区舞子台2丁目9-5	
電話番号：078-784-8881	FAX番号：078-784-8881
E-mail： @	ホームページアドレス： <a href="http://www.heartfield.jp">http:// www.heartfield.jp</a>

(2) 基本情報

理念・方針 ・ リズム音楽(オルフ・メソッド)や遊びのなかから、一人一人の個性を引き出す創造性豊かな保育。 ・ 異年齢児の交流により、思いやりや豊かな心を育む保育						
力を入れて取り組んでいる点・ 物事の善悪が判断できる子どもを育てる。 ・ 思いやりがあり仲良く遊べる子どもを育てる。 ・ 自分で考えることができる子どもを育てる。						
職員配置 ( )内は非勤	職 種	人 数	職 種	人 数	職 種	人 数
	園長	1 ( )	管理栄養士	1 ( )		( )
	主任	1 ( )	調理師	2 (1)		( )
	保育士	15 (2)		( )		( )
施設の状況(平成24年3月1日現在)						
0歳児クラス	8名	1歳児クラス	13名	2歳児クラス	12名	
3歳児クラス	15名	4歳児クラス	11名	5歳児クラス	15名	

### 3 評価結果

#### 総評

##### 特に評価の高い点

リズム音楽を使った保育や外国人講師との触れ合いを意識した英語保育等、明確な保育方針を持った運営がなされています。

また、施設運営については職員の働きやすい職場環境の整備等、既存の保育園の習慣にとらわれず独自の運営がなされています。

誰でもが参加できるベビーマッサージを行うなど、保育園の利用者だけでなく地域の子育て支援も積極的に行っています。

##### 特に改善を求められる点

まだ開園年数が浅く、若い先生が生き生きと働いています。

結果、保護者の方が先生方より年齢が上のケースも多くコミュニケーションが難しいケースもあるでしょう。

保育技術の研修だけではなく人間形成的な研修への参加、或いは管理者からの指導が望まれます。

また、マニュアルの整備等時の経過とともに充実してくるものもあります。積極的な情報収集や見直しを図ることが望まれます。

#### 第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けることで、職員が一丸となって自分たちの日頃の保育を見つめ直すことができました。今私たちに何が欠けているのか、自分たちが頑張っている所は何か。職員全員で話し合い改善点を確認しました。

10年目に向けて、心新たに頑張っていきたいと思います。

各評価項目に係る第三者評価結果

(別紙1)

各評価項目に係る評価結果グラフ

(別紙2)

## 評価細目の第三者評価結果

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

### - 1 理念・基本方針

	第三者評価結果
- 1 -(1) 理念、基本方針を確立している。	
- 1 -(1)- 理念を明文化している。	a・b・c
- 1 -(1)- 理念に基づく基本方針を明文化している。	a・b・c
- 1 -(2) 理念や基本方針を周知している。	
- 1 -(2)- 理念や基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	a・b・c

#### 特記事項

保育理念や基本方針は適正に策定されており、その文言から保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取る事ができます。  
 理念や基本方針を職員が理解できるよう、職員会議での説明など具体的な取組みが行われており、職員もその内容をよく理解しています。  
 利用者やその家族への周知も入園のしおりへの記載、行事等における説明など積極的に取組みが行われています。

### - 2 計画の策定

	第三者評価結果
- 2 -(1) 中・長期的なビジョンと計画を明確にしている。	
- 2 -(1)- 中・長期計画を策定している。	a・b・c
- 2 -(1)- 中・長期計画を踏まえた事業計画を策定している。	a・b・c
- 2 -(2) 計画を適切に策定している。	
- 2 -(2)- 計画の策定を組織的に行っている。	a・b・c
- 2 -(2)- 計画を職員や利用者に周知している。	a・b・c

#### 特記事項

理念や基本方針の実現に向けたビジョンは明確にされています。  
 単年度の事業計画は適切に作成されており、その内容も数値目標を設定するなど具体的なものになっています。  
 中・長期計画も適切に策定されており、関係職員もその内容をよく理解しています。  
 今後は、これらの計画等の見直しの頻度を高める事により、更に内容の濃いものにしていくような取組みが望まれます。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
- 3 -(1) 管理者の責任を明確にしている。		
- 3 -(1)-	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)-	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 3 -(2) 管理者のリーダーシップを発揮している。		
- 3 -(2)-	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a ・ b ・ c
- 3 -(2)-	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>管理者は自らの役割と責任を十分理解しており、福祉分野のみならず幅広い分野の研修に参加するなど、日々寺己研鑽に努めています。</p> <p>保育サービスの質の向上についてもその課題を把握し、改善のための具体的な取組みに指導力を発揮しています。</p> <p>また、管理者は組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置や職員の働きやすい環境整備等にも積極的に取り組んでいます。</p>
---

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

		第三者評価結果
- 1 -(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
- 1 -(1)-	事業経営をとりまく環境を的確に把握している。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)-	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)-	外部監査等を実施している。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>社会福祉事業全体の動向や地域における福祉サービスに対するニーズやデータ等の収集は積極的に行われています。</p> <p>また、そのデータ等に基づいて経営計画の改善や事業計画の見直しも行われています。今後は、経営に関しても職員を含んだ組織的な運営が望まれます。</p> <p>更に、税理士等外部の専門家と連携するなど、より一層質の高い経営が望まれます。</p>
--

- 2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
- 2 -(1) 人事管理の体制を整備している。	
- 2 -(1)- 必要な人材に関する具体的なプランを確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 人事考課は客観的な基準に基づいて行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(2) 職員の就業状況に配慮している。	
- 2 -(2)- 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みを構築している。	a ・ b ・ c
- 2 -(2)- 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a ・ - ・ c
- 2 -(3) 職員の質の向上に向けた体制を確立している。	
- 2 -(3)- 職員の教育・研修に関する基本姿勢を明示している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画を策定し、計画に基づいて具体的な取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(4) 実習生の受け入れを適切に行っている。	
- 2 -(4)- 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 -(4)- 実習生の育成について積極的な取組を行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

目標とする保育サービスの質を確保するための、必要な人材や人員体制に関する基本的な考え方や人事管理に関する方針が確立されています。

定期的に職員との個別面接の機会を設ける等、職員が相談しやすいような組織内の工夫、職員が働きやすい環境の整備等に積極的に取り組んでいます。

職員も積極的に外部研修に参加するなど、質の向上に取り組んでいます。

今後は、更に研修成果の評価・分析を行なうことが望まれます。

- 3 安全管理

	第三者評価結果
- 3 -(1) 利用者の安全を確保するための取組を行っている。	
- 3 -(1)- 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制を整備し機能している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a ・ b ・ c

特記事項

安全管理については担当者を設置し、職員参画のもと、定期的に安全確保に関する検討会を開催しています。

事例の収集や職員参画のうえでの検討会、未然防止のための研修等も積極的に行われています。

また、緊急の場合に備えて関係団体等との情報交換、連絡・協力体制も整備されています。

今後はマニュアルの整備とともに、関係職員への周知が望まれます。

- 4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
- 4 -(1) 地域との関係を適切に確保している。	
- 4 -(1)- 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- 事業所が有する機能を地域に還元している。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2) 関係機関との連携を確保している。	
- 4 -(2)- 必要な社会資源を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 4 -(2)- 関係機関等との連携を適切に行っている。	a ・ b ・ c
- 4 -(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
- 4 -(3)- 地域の福祉ニーズを把握し、事業・活動を行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>地域の人々に向けた、保育園や子どもへの理解を得るための日常的なコミュニケーションが心掛けられています。</p> <p>関係機関との連携も適切に行われており、そのネットワーク化にも取り組んでいます。</p> <p>また、子育て情報を地域に提供する等、保育園が有する機能の地域への還元も積極的に行われています。</p>
--

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
- 1 -(1) 利用者を尊重する姿勢を明示している。	
- 1 -(1)- 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)- 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2) 利用者満足の向上に努めている。	
- 1 -(2)- 利用者の意向の把握と満足の向上への活用に取り組んでいる。	a ・ b ・ c
- 1 -(3) 利用者が意見等を述べやすい体制を確保している。	
- 1 -(3)- 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 -(3)- 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a ・ b ・ c
- 1 -(3)- 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>利用者を尊重した利用者本位の福祉サービスを行っています。</p> <p>子どものプライバシー保護については、その規定やマニュアルを整備したうえで、職員研修などを通じてその周知のための取り組みがなされています。</p> <p>利用者からの苦情に対してもその保護者へのフィードバックは適切に行われています。</p> <p>今後は、これらの苦情等について、その苦情内容及び解決結果等を積極的に公表し、利用者に対して安心感を与えるための取り組みが望まれます。</p>
--

- 2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
- 2 -(1) 質の向上に向けた取組を組織的に行っている。	
- 2 -(1)- サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a ・ b ・ c
- 2 -(2) 個々のサービスの標準的な実施方法を確立している。	
- 2 -(2)- 個々のサービスについて標準的な実施方法を文書化しサービスを提供している。	a ・ b ・ c
- 2 -(2)- 標準的な実施方法について見直しをする仕組みを確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3) サービス実施の記録を適切に行っている。	
- 2 -(3)- 利用者に関するサービス実施状況の記録を適切に行っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 利用者に関する記録の管理体制を確立している。	a ・ b ・ c
- 2 -(3)- 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>サービスの質の向上に向けた取組みは、職員参画の上、積極的に行われています。また、自己評価も定期的に行われており、自己評価に基づく分析や見直しも適切に行われています。</p> <p>個々のサービスについても標準的な実施方法を文書化しており、その実施状況を確認する仕組みも構築されています。</p> <p>利用者に関する記録についても、管理体制が整備されています。</p>
---

- 3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
- 3 -(1) サービス提供の開始を適切に行っている。	
- 3 -(1)- 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a ・ b ・ c
- 3 -(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
- 3 -(2)- 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>サービスの開始にあたっては、入園のしおり、ホームページ等において具体的な情報の提供がなされています。</p> <p>保育終了後も保育相談に応じる体制を整備し、担当者も設置されています。</p> <p>入園のしおりなどは、その内容も解りやすく説明がなされており、施設の方針等の説明も理解しやすい内容となっています。</p> <p>また、見学や体験利用等も積極的に行なわれています。</p>
--

- 4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
- 4 -(1) 利用者のアセスメントを行っている。	
- 4 -(1)- 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a ・ b ・ c
- 4 -(1)- 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2) 利用者に対するサービス実施計画を策定している。	
- 4 -(2)- サービス実施計画を適切に策定している。	a ・ b ・ c
- 4 -(2)- 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

<p>子ども一人ひとりのアセスメントは適切に記録されています。          また、その見直しも定期的に定められた手順により行なわれています。          サービスの実施計画も責任者を設置のうえ、関係職員の合議、利用者の意向を考慮したうえで、定められた手順により行なわれています。          指導計画の見直しも、緊急の場合を含め、組織的な仕組みを定めて実施されています。</p>
--

評価対象 実施する福祉サービスの内容

- 1 子どもの発達援助

	第三者評価結果
- 1 -(1) 発達援助の基本	
- 1 -(1)- 保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成している。	a ・ b ・ c
- 1 -(1)- 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2) 健康管理・食事	
- 1 -(2)- 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a ・ b ・ c
- 1 -(2)- アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、	a ・ b ・ c

適切な対応を行っている。	
- 1 - (3) 保育環境	
- 1 - (3)- 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 - (3)- 生活の場に相応しい環境とする取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 - (4) 保育内容	
- 1 - (4)- 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 子どもが自発的に活動できる環境を整備している。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 身近な自然や社会とかかわれるような取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- さまざまな表現活動が体験できるように配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 乳児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している。	a ・ b ・ c
- 1 - (4)- 障害児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a ・ b ・ c

#### 特記事項

子どもの発達援助については、保育計画が児童憲章、保育指針等の保育の基本方針に基づいて作成されており、指導計画も定期的に評価・見直しが行われ、その結果に基づいた指導計画を改定しています。

また、健康管理や食事・保育環境や保育内容についても、マニュアルの整備やチェックリストの活用が行われており、職員への研修や周知も積極的に行われています。

今後は給食のサンプルの掲示・食材や食器の安全性の保護者への伝達等を通じて、子どもの食生活を充実させるため、家庭と連携して行くことが望まれます。

#### - 2 子育て支援

	第三者評価結果
- 2 - (1) 入所児童の保護者等への育児支援	
- 2 - (1)- 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a ・ b ・ c
- 2 - (1)- 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	a ・ b ・ c
- 2 - (1)- 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a ・ b ・ c

- 2 -(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a ・ b ・ c
- 2 -(1)- 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a ・ b ・ c

特記事項

子育て支援については、送迎の際の対話や連絡帳への記載など日常的な情報交換に加え、懇談会など話し合いの場を設けるなどして、積極的に保護者との共通理解を得るための機会をもうけています。

一時保育についても積極的な取り組みがみられます。

今後は虐待が疑われる子どもの特徴をはじめ、その早期発見のための職員研修の実施やマニュアルの周知徹底のための取り組みが望まれます。

- 3 安全・事故防止

	第三者評価結果
- 3 -(1) 安全・事故防止	
- 3 -(1)- 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a ・ b ・ c
- 3 -(1)- 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している。	a ・ b ・ c

特記事項

衛生管理マニュアル・食中毒発生時対応マニュアル・不審者対応マニュアル等の整備、各種チェックリストの活用などは組織的に、かつ積極的に行なわれています。

衛生管理マニュアル・食中毒発生時対応マニュアル・不審者対応マニュアル等の整備、各種チェックリストの活用などは組織的に、かつ積極的に行なわれています。

また、ヒヤリハットなどの事例の収集や事故防止のための研修なども積極的に行なわれています。